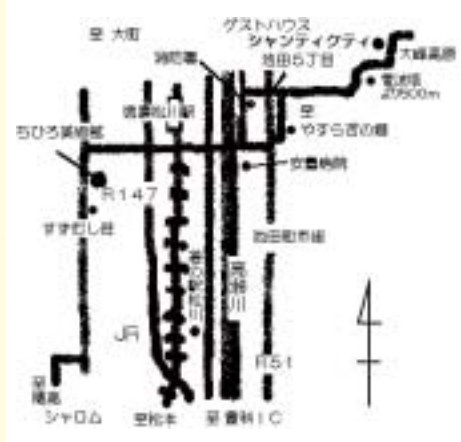


## 舎廬夢(シャロム) ヒュッテ

信州 北アルプス山麓 安曇野にあるシャロムは、宿泊 農業オーガニックなビースフード・穀菜食の野菜料理レストラン、エコロジー&フェアトレードショップ、野外保育「森の子」などが融合したエココミュニティです。自然農の圃場をベースに パートナーシップによる共生、地域通貨等の実践を通じて持続可能な21世紀の新しい生き方を指向しています。ガンジー思想、シュタイナー、パーマカルチャーの考えを具現化したいと思っています。



予約問い合わせ  
〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明 7958  
TEL FAX 0263-83-3838  
<http://www.ultraman.gr.jp/shalom/>



## ゲストハウス シャンティクティ

穂高から30分の池田にあるシャロム第2の宿 ゲストハウス・シャンティクティは低料金の静かな宿です。2食付きで5300円。合宿セミナーにもご利用ください。地球一つで暮らすを目標に整備を進めています。池田は静かで北アルプスの眺めの美しいところです。パーマカルチャーサイトとしても充実してきました。シャロムは若いスタッフが運営して、白井はシャンティクティにすることが多くなります。

予約問い合わせ  
〒399-8602 長野県北安曇郡池田町会染 552-1  
TEL・FAX 0261-62-0638

<http://www.ultraman.gr.jp/shantikuthi/>



illustration&design:sawa



## One Earth One Love 持続可能な幸せな暮らし

地球一つで暮らす生き方にシフトする。パーマカルチャーや自然農の考え 知足の暮らしにワールドシフト、トランジションする。

シャロム コミュニティ  
<http://www.ultraman.gr.jp/shalom/>

### オーガニックレストラン&カフェ シャロム

ビースフードとは、心を平和にし、体に「調和」をもたらす食べ物のこと なるべく地元の「安心素材」を使うように心がけています マクロバイオティック 穀物菜食をベースとしたベジタリアンメニュー 自然農の畑で私達が育てた野菜や山の幸の自然のおいしさがいっぱい 北アルプス山麓の美しい眺望と共に、ゆったりとしたひとときをお楽しみください。

TEL&FAX 0263-83-6245  
ランチタイム 12:00~13:30 カフェタイム 14:00~17:00  
ディナーコースは前日までにご予約ください。定休日:水木曜と第2週月曜~木曜



舎廬夢(シャロム) ヒュッテ 〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明 7958 TEL・FAX 0263-83-3838  
ゲストハウス・シャンティクティ 〒399-8602 長野県北安曇郡池田町会染 552-1 TEL・FAX 0261-62-0638

## 競争原理から分かち合う暮らしへ シャロムコミュニティ

福島の大震災やリーマンショックに見る経済破綻、地下資源の枯渇、オイルピーク、温暖化の問題、水不足、これからくる食料危機を考えると、経済システムも変える時に来たように思います。降りていく生き方・分かち合う生き方です。有限な地球で無限な経済成長はあり得ません。それはシャロムの生き方についても同様です。シャロムは人と皆さんに支えられてやってこれました。有り難いことと感謝しています。でも心の中に 葛藤がトピックとしてずっとありました。成長をし続けなければならぬ資本主義の生き方はもう無理なんだと考えてもいました。個人の利益は得られるが地球が2.5個も必要な事になってしまう。地球一つで暮らす生き方にシフトする。パーマカルチャーや自然農の考え知足の暮らしに ワールドシフト、トランジションする。「持続可能な幸福に満ちた社会」はサーカー、ラビ・バトラのいう「プラウト主義経済社会」の実現です。それはシュタイナー、ガンジーが目指した世界でもあります。

### すべて善しとする融合しあう独自の世界

安曇野に、農的暮らしに心惹かれる人々が集まるコミュニティがある。シャロムヒュッテを中心に ビースフードのレストラン 薪の石窯で焼くパンやピザ フェアトレードのシャンテパザール シュタイナーの木の小物やおもちゃ 本も販売している ギャラリースペースや安曇野のインフォメーション ワークショップスペース 自然栽培の農場 野外保育森の子等 また ワークショップやコンサートなどもおこなわれている。いろんなものがつながり合い心地よい世界を作り出し、もう30余年になるという。

緑に包まれた半セルフビルドのヒュッテは、ヨーロッパの山岳リゾートを思わせ 毎日たくさんの人たちが訪れる。夜の団楽の時間、オーナーの白井さんは集まったゲストにこう尋ねる。「最近、興味をもっていることは何ですか? どうしてシャロムに来ようと思いましたか?」その答えはさまざまだが、共通しているのは、

### 継続可能な暮らしを美しくデザインする

白井さんがとても楽しそうに、けれど志高く取り組んでいるのは、継続可能な暮らしのかたち。たとえば、コンポストトイレ。「水洗トイレは便利だけど、水を流したり、汚水を浄化するのに 沢山のエネルギーが必要になる。し尿を堆肥化し、土に還すコンポストトイレなら、エネルギーの負荷も少なく、循環が断ち切られることはありません。雨水を貯めるタンクもある。ドラム缶を利用したメタンガスの発酵装置や自転車発電機、粉砕のボイラー

### 足るを知ることがこれからの希望になる

「自然農の畑は、たくさんは採れません。でも、それでよしとします」と白井さん。100 あるうちの、60しか収穫できなかったと

今まで一緒にリーダーのもとに運営してきたシャロムを宿とレストラン、ショップ、農を分離、より小さな組織にしました。売り上げ経費をみんなで分けるシステムとしコーポラティブ(組合方式) コミュニティに移行します。各自が自立して重なり合うそんな世界です。自立心を高め各自が経営者、そして支え合う、よりスモールな感覚です。

農業はCSA(CSAとは、Community Supported Agricultureの頭文字をとったもので、「地域のコミュニティに支持された農業」という意味)を取り入れレストランと宿で支える。生きる基本である農を支え 暮らしのベースにした生き方です。大変とは大きく変わると書きます。今の大変な状態を大きく変わるチャンスととらえたいと思います。

自然の近くで過ごしたいこと、そして将来は自給自足の農的な暮らしをしたいから、という人も多い。シャロムヒュッテが実践している農的な暮らしは、世界各国のさまざまな思想や、考え方が融合され、独自の世界を織りなしている。宿の本棚を見ると、その世界観の一端に触れられるだろう。自然農やパーマカルチャーの関連書籍、詩集に童話に哲学書、マンガ本 思想書、科学の本、スビルチャル本本 料理のレシピまで、壁にはぎっしり本が並び、まるで図書館にいるようだ。畑を見てみよう。川口由一の自然農、福岡正信の自然農法、岡田茂吉のMOA自然農法、森林農法、炭素循環農法、有機栽培と、さまざまな農法が実践されている。「こんなにいるような農法を一箇所でやっている場所は、他にないかもね」と白井さんは愛嬌たっぷりの笑顔を見せる。どれかひとつだけが正しいのではないという柔軟な姿勢は、敵や味方を区別しない、自然農の畑の姿にも似ている。

ソーラーパネルや風力発電機もある。薪ストーブも、アースオーブン 薫製室 ベチカもある。そのすべては、実用的でありながら、見るとわくわくするものばかり。農的暮らしを「楽しむ」とは、こういうことなのかと、憧れる人も多いだろう。田畑だけでなく、その周囲の暮らしのとらえ方や、考え方、デザインの美しさが、多くの人々がシャロムに呼び寄せられる理由なのかもしれない。

しても、40は大地に蓄えられている。今年よりも来年のほうが、来年よりも再来年のほうが、土が豊かになって収穫も増えてい

く。収奪しない調和した生き方 それが持続可能性を生みます。「自然界に間違いはありません 多くは私たちの自然への接し方がまちがっているように思います。自然界への関わり方をあやまらなければ、余剰物で人間は生きられるのです。奪わない。競争しない。自然農の小さな畑には、そんな平和な世界がある。

### 農作業の手伝いはいつでも大歓迎

シャロムでは、パーマカルチャー塾 自然農学習会や農業体験 安曇農家会という、農的な体験実習を行っているが、それ以外でもいつでもお手伝いは大歓迎。自然農の畑や田んぼの楽しさと気持ちよさは、実際に触れてみなければわからない。

### 地球ひとつで暮らすワン・アース・プロジェクト

白井さんは、シャロムの他にもひとつ、小さなゲストハウスをはじめている。家族労働で支えられているシャンティクティという名のその宿で、地球一つで暮らす「ワン・アース・プロジェクト」の取り組みを行っている。

### ワン・アース・ワン・ラブ 未来の希望がここにある

### これからの生き方 瓦理論

20世紀は瓦を縦に重ねた時代です。クラスで1番 会社で1番 ワールドカップで1番。縦に重ねた瓦の下には一人しか憩えませんが、そして2~3枚欠けても問題ありません。瓦は縦に重ねるのでなく横に重ねる それも30パーセント重ねて横に並べると雨の漏らない1番広い面積ができます。また1枚欠けても雨が漏ります。どんなものも存在価値があります。またたくさんの方が憩うことができます。縦型から横型に リーダー型からパートナーシップの時代にダーウィンの進化論から今錦司さんの弱者も住める棲み分け論の時代に トラとライオンは争いません。片や林に 片や草原に 住み分けているからです。草だって虫だって役割があります。奪い取る時代から分かち合う時代へ。アメリカンドリームを達成したビルゲイツ 素晴らしい経営者です。片やリナックスという組織があります。すべてのソースを解放してみんなでなおす。使ってもらえることが自分の喜びという資本主義の根拠を覆す考えです。今では多くの人たちがリナックスのサーバーを無料で使わせてもらっています。与え合う世界です。これは人を幸せにします。

たくさん草が茂る畑を眺めながら、白井さんは「本当に美しいね」と目を細めてつぶやく。農的暮らしを「楽しむ」とは、こういうことなのかと、憧れる人も多いだろう。田畑だけでなく、その周囲の暮らしのとらえ方や、考え方、デザインの美しさが、多くの人々がシャロムに呼び寄せられる理由なのかもしれない。

シャロムを訪れたなら、朝の瞑想やモーニングヨガをして、エコツアーに参加し、朝ごはんを食べ、その後畑の手伝いを申し出てみてはいかかだろう。わかちあうことを喜びとする、白井さんはじめ、農業スタッフが、きっと温かく迎えてくれるはずだ。

「今の日本人の暮らしは、自然と第3国を犠牲にした地球が2.5個必要な暮らし方。シャンティでは、食料とエネルギーを自給し、持続可能な暮らしができるモデルをつくりたいと考えています。地球1個で暮らす知足の暮らしが目標です」

日本人の暮らしを世界中の人がすると地球が2.5個必要です。持続可能ではありません。21世紀は分けたものが再び合う時代 分かち合いの時代です。そして本物が評価され つながりを取り戻す時代です。分断して競争する仕組みから融合して共生する時代を迎えています。

### Imagine all the people Living life in peace

人々が平和に暮らしているということを想像してごらん。 LOVE ALL SERVE ALL

あなたと私はばらばらで別々なんだという考えは分離対立を生みました。分離することにより専門化が進み効率も良くなり物質的には豊かになりました。しかし個人の利益の追求、競争は人を幸せにはしませんでした。分離の時代は終わりました。これからは一つに溶け合う時代です。あなたと私。宇宙も全てがひとつなのです。